

研究名：ニューラルネットワークを用いたディープラーニングによる分娩日予測アルゴリズムの作成

1. 研究の目的

陣痛発来メカニズムは不明であり、その予測は現在も出来ていません。陣痛発来は多様な因子に影響を受けており、単純なモデルが構築できないため、人ではわからない目の付けどころを見つけ出すことが可能なディープラーニングによるモデルなら予測が出来る可能性があります。陣痛発来、分娩日の予測が出来れば、早産、過期産の医学的リスク管理に役立つだけでなく、妊婦さん、その家族への精神的、肉体的負担が大いに軽減されることが期待されます。

2. 研究の方法

研究対象：成育医療研究センターで分娩した妊産婦

研究期間：倫理審査委員会承認後～ 5年間

研究方法：成育医療研究センターで分娩した妊産婦さんで2010年1月1日から2019年12月31日までに分娩に至った患者さんの診療情報（初診時間診票データ、妊婦健診データ、超音波画像データ、分娩記録、助産録等）を収集し、国立成育医療研究センター（責任者：谷口公介）に提供します。国立成育医療研究センターでは、収集した情報をもとに陣痛発来、分娩のタイミングを予測するモデルをディープラーニングで構築します。

3. 研究に用いる情報の種類

初診時間診票、妊婦健診記録、超音波検査データ、分娩記録、助産録、等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究結果は、研究対象者を特定できないようにした上で、学会や学術雑誌で公表します。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年5月30日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 周産期病態研究部 谷口 公介

電話：03-3416-0181（代表）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 周産期病態研究部 谷口 公介